



No.14
令和8年
9月議会

大垣市議会議員

本田ゆみこ 市政報告

「福祉避難所」「図書館の在り方」「市民病院の経営」について3件質問しました。

福祉避難所について(質問要旨)

- ①福祉避難所の整備状況と避難の方法について
- ②最重度の障がい者は福祉避難所に直接避難することが望ましいと考えるが、市の見解はどうか。

答 弁

- ・34箇所の社会福祉施設、総計で408人の受け入れ体制
- ・まず、一時避難所に避難して身の安全を守り、市が福祉避難所受入れ可否の確認後、福祉避難所へ避難することになります。
- ・医療的ケアの状態によっては、個々に柔軟な対応が必要との認識はあるが、避難の基本を理解していただきたいと考えています。
- ・岐阜DWATと連携して、福祉避難所の開設、要配慮者の受け入れから支援までの一連の動きを行う実践的な訓練や、市職員間の連携訓練をしました。今後も福祉避難の受け入れ体制の充実、関係機関との連携、職員の対応力向上に努めていきます。



図書館の在り方について(質問要旨)

大垣市図書館では、市主催の文化的イベントの情報発信や開催がされている。市主催だけでなく、大垣市図書館にある本や大垣市出身の作家、文化的な活動に関する市民提案イベントの情報発信もしていくのはどうか。

答 弁

- ・市の後援があるイベントのチラシについても配架スペースの確保の検討をしています。

大垣市民病院の経営について(質問要旨)

- ①R6年度は赤字であったが、現況についてはどうか。
- ②病院経営の改善策について。コスト削減、国の補助支援事業の受入れや外部の専門家を入れてやっていくことについてはどうか。
- ③市民病院内のコンビニ等から共済会への収益を市民病院の企業会計に入れるべきではないか。

答 弁

- ・R6年度び当年度純損失約9億9900万円、R7年度の当年度純損失約13億9000万円
- ・使用物品、契約内容見直し、業務効率化等進め、一定の効果があります。国の支援事業について、補助金等4億5000万交付を受けています。外部専門家について、価格適正化、手術業務効率化など高い効果が期待できる領域で一部業務委託を行うなどしています。
- ・コンビニは病院利用者の利便性向上のみならず、職員の福利厚生を目的に運営をしており、病院収益に入れることは考えていません。

7月～9月の主な活動報告



7月

- ▲「夢見る校長先生」映画上映と対話会
子どもの権利が守られる公教育の在り方についての対話をしました。



- ▲「水門川クリーン作戦」
水都まつりの前に、川底をきれいにしようと大勢のボランティアで川底と橋上の清掃活動を行いました。



▲打ち水作戦

- 水都まつりで、打ち水作戦に参加したい方とNPO法人水都まちづくりのメンバーで打ち水作戦を行いました。



8月

▲地域の盆踊り

- 8月23、24日の2日間にわたり盆踊り大会が開催されました。地域の方、盆踊りが好きな方が集まり楽しい時間を過ごしました。



9月

▲「名鉄広見線から学ぶ」講演会

- 可児先生から、地方にとって大切な公共交通の存続について、持続可能な公共交通であり続けるためにどのように働きかけていくとよいかについて学びました。

今回、図書館の在り方についての質問を通して、野呂さかんが大垣市出身だということを知りました。国語の教科書にも野呂さかんの作品「こわれた1000のがっき」「ゆうひのてがみ」などが載っています。11月14日には、市内の音楽家の方が野呂さかんの歌のコンサートを開かれます。ぜひ、そういった機会に大垣市出身作家の作品に触れられるのはいいですね。また、大垣市図書館にも著作が2冊あるので読んでみようと思います。



野呂 昶
(のろさかん)
の詩集

ご参加ください

市政報告会

日時／10月25日 ⑨ 10:00～
場所／オカサンホテル 1F 西事務所
大垣市旭町1-5

本田ゆみこ
事務所
自宅事務所

〒503-0824 大垣市旭町1丁目5番地
TEL 71-8677 FAX 75-2455
〒503-0831 大垣市新長沢町1丁目26番地1

本田ゆみこ一般質問
YouTubeにて配信



皆様のお声もぜひ
お聞かせください

ホームページはこちら



Instagramはこちら

